

海に浮かび、森を感じる。

(提案者) 代表企業：(株)竹中工務店 構成企業：湊建設工業(株)、TC神鋼不動産建設(株)、(株)粹設計

施設概要

- 主要用途：空港旅客ターミナルビル
- 延床面積：約14,600㎡
- 建築面積：約12,900㎡
- 建物階数：地上2階
- 構造種別：鉄骨造



外観イメージ

自然・歴史・文化との調和

自然

神戸の特徴である海を感じ、山を望む展望デッキを設け神戸の街並み、六甲山、明石海峡大橋などを楽しむ空間を設けます。
建物周囲を緑あふれる空間とし、出発・到着ロビー、ランドスケープとの一体化を図り、様々な場所で緑・自然を感じられる空間を創出します。

歴史

旧居留地の建物に多く残る、陰影のあるデザインの特徴を、サブターミナルの外観計画に取り入れます。

文化

神戸の様々な文化を発信できるにぎわいスペースをサブターミナルとランドスケープエリアと一体的に利用できるように設け、多くの人が楽しめる空間とします。



展望デッキイメージ

利用者に優しくストレスフリーで健康な旅

主な旅客機能を1階に集約して配置することで、階層移動を無くし利用者にとってストレスフリーな空間とします。
主な機能が吹抜けのロビーに面する、わかりやすい施設配置とします。
木と緑にあふれる自然を感じ、より快適な旅を演出します。



出発・到着ロビーイメージ

おもてなしの心とにぎわいを大切に空間

訪れた到着客が最初に体験する神戸の景色を緑と木につつまれた温かい空間とします。
空港利用客以外の人々も楽しむ事ができる、にぎわいの空間とします。

地域木材の活用、カーボンニュートラルへの対応

玄関口の軒天井、ロビー空間の天井、展望デッキなど地域木材の活用を図ります。
開放的なガラス張りの空間とし、内部に柔らかい自然光を取り込みます。

災害対策拠点となる防災機能の確保

重要な設備機器を2階に配置するなど、災害が起きた際も建物機能を維持し、空の防災拠点としての機能を確保します。



出発・到着ロビーイメージ

旅客機能を1階に集約し、利用者にとわかりやすい施設計画

建物の配置計画

ターミナルとランドスケープを一体で考え、敷地全体が緑にあふれる計画とします。

階層計画

旅客の航空機への乗降に際し、できるだけ階層移動が少なくなるよう、主要機能を1階に集約します。

1層方式
(今回の提案)



施設配置計画

出発・到着ロビー

出発・到着ロビーを1階に集約することで効率的な計画とします。ランドスケープとも施設内の緑が連携できる配置とし、内部・外部空間一体の賑わいのスペースとします。

保安検査場

国際国内とも2レーンのスマートセキュリティ設置スペースを確保し、利用者増に伴う将来の機器増設にも配慮します。

CIQエリア

CIQ事務諸室は5官庁を集約して配置します。1層方式のため、出国機能と入国機能が同一階のため検査職員の移動が容易です。

商業施設

商業施設は、『にぎわい空間』の一部として旅客ロビーに、また出発客用として搭乗待合室に配置する計画とします。

サービス・案内

インフォメーションカウンターは施設正面のわかりやすい位置に配置し、利便性の向上を図ります。

断面構成

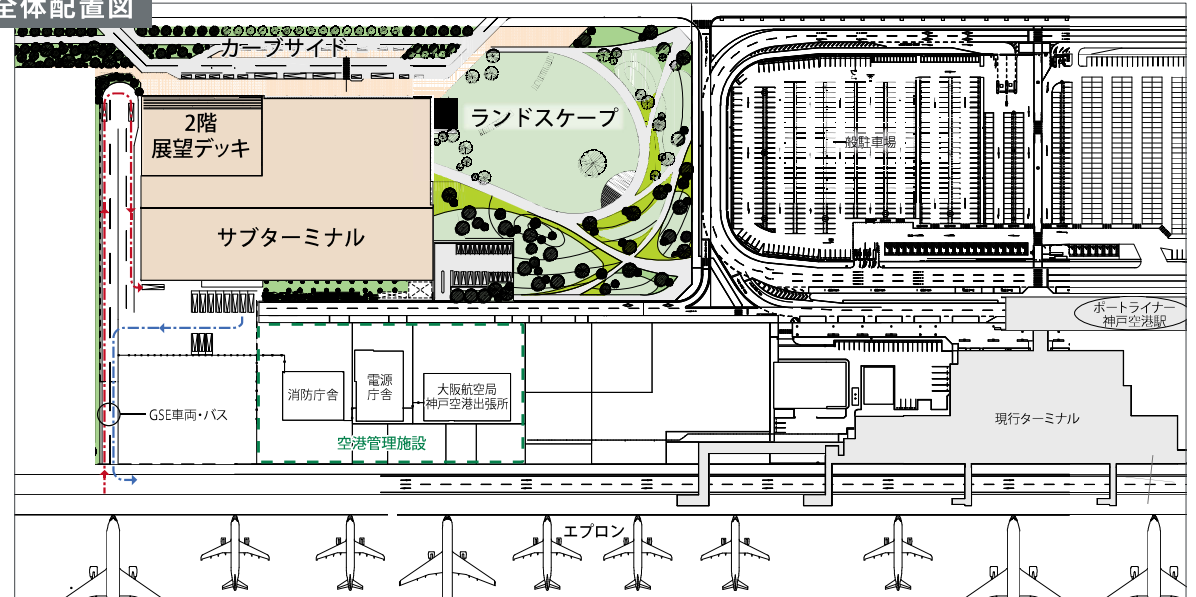
出発・到着ロビーは、利用客が快適に過ごせる空間として、大型モニュメントなどの設置も考慮して、開放感ある吹抜け空間(梁下6m程度を確保)とします。



環境配慮

施設の利用状況に応じた設備機器の最適な自動制御などにより年間消費エネルギー50%以上の削減を実現。

空港全体配置図



配置外構図

